

# 2021 年度後期第 3 回全学実行委員会議事要旨

文責 北海道大学大学祭全学実行委員会事務局 事務局長 北澤 剛

本文書では以下の略称を用いる。

参加者の略称：

委員長(全学実行委員長)

局長(全学局長)

会計(全学会計)

榆(榆陵祭代表)

薬(薬学祭代表)

工(工学祭代表)

IFF(International Food Festival 代表)

農(農学祭代表)

獣医(獣医学祭代表)

医(医学展代表)

文(文系祭代表)

理(理学祭代表)

その他の略称：

各祭(北大祭を構成する上記の各種学祭)

委員会(委員会という場合、組織としての全学実行委員会を指す)

実委(実委という場合、会議としての全学実行委員会を指す)

事務局(北海道大学大学祭全学実行委員会事務局)

## 1. 近況報告

1 月 25 日に、北大祭事務局と大学事務との意見交換会が行われた。大学事務の主張としては、対面開催については肯定的ではあるが、食品提供については否定的な意見を持っていると感じられた。

## 2. 会計監査の決定

全学実委では、各祭代表者から一人、会計監査が 1 名選出されることになっている。今回は、立候補者がいなかったため、副実行委員長を兼任している榆陵祭代表を除く各祭代表者の中からくじ引きを行い、「獣医学祭」の代表者が会計監査を務めることになった。

## 3. 来年度の北大祭についての議論

①食品提供の方法

大学事務との意見交換を受けて、委員長は「第64回北大祭は、例年通りの食品提供を行うことが難しい」との見解を示したうえで、以下の3つの食品提供案を提示した。

1. イートインスペースの設置
2. 完全テイクアウト制の導入
3. 既製品の販売のみに限定

※これらの案は委員長および副委員長が、考えられる対策案として提示したものであり、北大祭事務局との協議は行っていないものである。

(補足) 完全テイクアウト制で考えられる問題として、

- ・長期保存可能食品を販売する場合は、参加団体に資格取得の必要性が生じる
- ・食中毒のリスクが高まる

というものがある。

## ②延期時期について

大学事務との意見交換の中での、「3月末の感染状況によって開催形態を決定したい」という主張を受け、実行委員長は以下の3つの延期時期案を提示した。

1. 夏休み
2. 10月
3. 11月

※学事暦の関係により、夏休み期間中の3日間開催は難しいとのこと。過去に夏休み開催が意見として上がったこともあったが、各学部において試験や実習などが重なるなどの理由で淘汰された(2021年度前期第4回全学実委議事要旨参照)。

## ③来場者制限について

北大祭事務局で作成した来場者制限案に対する大学事務の指摘を基に、来場者制限案の版上げを行い、完成版を全学実委にて各祭に共有するとのこと。

## ④オンライン開催の可能性の有無について

大学事務の「3月末の感染状況(BCPレベル)によって開催形態を決定したい」という主張からも分かるように、完全オンライン開催の可能性もあるとのこと。

## ⑤職域接種について

第64回北大祭が6月開催である場合、職域接種が行われるクラーク会館は、使用が難しいとのことである。続報は委員長より随時伝えられる。

## 4. その他

- ・次回の全学実委は2月21日(月)
- ・次回の大学事務との意見交換会は3月中旬に行われる予定。

## 5. 本件に係る連絡先

北海道大学大学祭全学実行委員会事務局長 北澤 剛 (huf@hokudaisai.com)